

令和元年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和元年5月29日（水）13：00～14：20

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	佐々木 光俊	教授・理事・評議員
5	大沼 徹	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	小針 美由紀	高校教頭・評議員
9	長谷川七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	長谷川 美治	千葉経済大学父母の会会長・評議員
12	山田 高史	千葉経済大学短期大学部後援会会長・評議員
13	大野 修一	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
14	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
15	安田 敬一	安田教育振興会理事長・評議員
16	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
17	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
18	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
19	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
20	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
21	石渡 哲彦	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
22	佐久間 道子	評議員
23	栗沢 尚志	大学経済学科長・教授・評議員
24	高屋 和彦	大学名誉教授・評議員
25	佐久間 達郎	評議員
26	積田 悟	前高校副校長・評議員
27	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
28	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】平成30年度事業報告について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園平成30年度事業報告書」に基づき、法人の概要、事業の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて学習環境の整備に努めるとともに教育の充実・推進にあたった。

学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ教育環境の整備を行った。

平成30年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 建学の精神の啓蒙教育

論語から十二訓を選んで大学・短期大学・附属高校の教室等に掲示し、「片手に論語 片手に算盤」の精神の周知徹底を図るとともに、大学では「論語と社会」の科目を引き続き開講し、附属高校では論語ノートを活かして建学の精神の涵養に努めた。

(2) 大学・短期大学・附属高校の連携推進

大学・短期大学・附属高校三者の連携会議を随時開催し、ビジネス教育関係、入試・進路・広報、学生生徒の諸活動等、各分野にわたって学園として密なる機能連携を図った。

(3) 学園85周年記念事業

学園85周年記念事業として、耐震機能を強化した附属高校新体育館の建設に着手した。建設費用は補助金及び借入金のほか記念事業の寄附金を募って充てることとした。

(4) 広報の充実強化

大学・短期大学・附属高校のそれぞれの入試に係る広報に加えて、JR千葉駅の改札前・券売機前に固定看板を設置する等、幅広い情報発信と学園全体についての広報に取り組んだ。

(5) 短期大学部旧校舎跡地の活用の検討

短期大学部旧校舎を平成 30 年度から 31 年度にかけて解体し、同敷地を大学及び短期大学の共用スポーツエリアとして、人工芝によるソフトボール・フットサルの多目的グラウンドとして造成することとした。また、新耐震基準を満たしている短大 B 棟の有効活用方策として、附属高校の部活動等の施設とする検討を行った。

(6) ボランティア活動の推進

地域貢献という学園の使命を果たすため、東京 2020 オリンピック・パラリンピックも念頭に置きながら学園ボランティアセンターを開設し、地域の関係団体と連携した学生生徒のボランティア活動を推進していく体制を整備した。

(7) 資格取得奨励

大学・短期大学・附属高校それぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した。授与された学生・生徒は延べ数で、大学院 1 名、大学 6 名、短期大学 17 名、高校 61 名である。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 新校舎の点検改修工事の実施

建設後13年目となった新校舎の予防保全のため、点検改修工事を昨年度に引き続き実施した。

(2) 視聴覚教室の改修

授業での ICT (情報通信技術) の利用を進めるべく 1 号館視聴覚室を改修し、新たな ICT 設備を導入して、教育環境を整備した。

(3) 高校クラブハウスの点検改修

建築後 14 年目 (学園取得は平成 24 年) となる高校クラブハウスの予防保全のため、点検改修工事を実施した。

(4) 学力向上のための授業内容の充実

授業時間の確保や内容の充実を図るとともに、高大接続改革による、「大学入学共通テスト」の実施に向け、英語検定受験の呼びかけや講座開設を行い、準 2 級合格者の増加が実現した。

(5) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進プロジェクトチームが中心となって指導にあたり、高い意識を持ってセンター試験

や一般受験に臨む事ができた。センター試験の学校平均点は、全国平均を上回り実力はついているが、首都圏大学への入学については厳しい結果となった。

(6) 専門科教育の充実

資格取得を目標に専門科に入学してくる生徒も多数おり、積極的に資格試験に挑戦した。きわめて困難な日商簿記1級に合格した生徒をはじめ、多くの生徒が高度資格を取得した。

(7) 新学習指導要領への移行準備

2022年度の次期指導要領への移行に向け、教員研修を開催し、新指導要領への理解を深め移行への準備に入った。

(8) 部活動の振興

柔道部・ソフトボール部・卓球部・バスケットボール部が全国総体に出場し、柔道部の皆川大記君が100kg級で全国制覇を成し遂げた。また、珠算部も全国大会で入賞した。

(9) いじめ及び体罰の防止に努める

いじめについては、教員相互の協力のもと早期発見に努め、深刻となるような問題は発生しなかった。

(10) 教員研修の充実

新規採用教員の校内及び校外研修や、全教職員に対する研修も随時実施し、教育内容の充実に努めた。

(11) 定員確保のための生徒募集活動の遂行

入試広報室を中心に全職員で生徒募集にあたり、平成31年度は定員を上回る594名の新入生を確保することができた。

【2】平成30年度決算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長補佐から別添2「平成30年度 学校法人計算書」に基づき、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書及び事業活動収支計算書についての説明が行われた。引き続き、植松 省自監事より資料1「監査報告書」について説明がなされた。

【3】第3体育館解体後の跡地整備について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添3「高校第3体育館解体後の跡地整備事業概要」に基づき説明がなされた。

【4】その他（報告事項等）

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告及び「高校の満足度調査結果」についての報告があった。

- ① 今年度は4月に594名の新入生を迎えました。無事入学式を終え1ヶ月半過ぎましたけれど、新入生は例年になく落ち着いた生徒達が多数入ってくれました。4月に郊外レクリエーション等あり郊外活動等も無事こなしています。しっかりとした生徒達がこれから3年間頑張ってくれると思います。
- ② 部活動では5月連休前後に関東予選があり7つの部活動が関東大会の方へ進みました。ソフトボール、卓球、バスケットボール、空手、ボクシング、柔道、自転車競技とこの後、6月の1週目を中心に各地で活躍してくれると思います。また、来月は高校総体もありますので全国総体出場に向けて頑張ってもらいたいと思っております。また将棋部が、千葉県高校総合文化祭の将棋大会で優勝して全国高校総合文化祭将棋部門に出場しますので頑張ってもらいたいと思います。
- ③ ボランティアセンターが学園の方に出来ました。数年前からボランティア活動を行って行こうと言うことで文化部を中心に吹奏楽部、折り紙同好会、将棋部あたりが、いろいろな施設への訪問等を実施しております。7月早々、お年寄りの方たちと将棋を指したり、折り紙を折ったりと言うことを行ってゆきます。今後も学園ボランティアセンターを窓口協力して行ければと思います。
- ④ 「資料の最後に満足度調査結果」ですが、年1回実施しています。満足度アンケートの全項目において70%の満足度を得ております。内訳をみますと例年1番高いのは友人関係です。今、いじめやその他人間関係で、問題の多い時勢にあって本校においては、非常に友人関係が良いと言う結果として出ています。

・意見

- ① 是非、野球部も甲子園を目指してもらいたい。
- ② オリンピック・パラリンピック関係のボランティアに生徒さんが参加してもらいたい。